

# 令和3年度 横川西小学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画、網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

## 1 教育目標（目指す児童像含む）

生きる力を育む教育活動を通して、心身共に健康で、自ら学ぶ意欲をもち、心豊かな児童を育成する。

### 児童目標【げんきで かしく やさしい子】

◇健康で がんばる子ども ◇よく考え すすんで学ぶ子ども ◇きまりを守り 思いやりのある子ども

## 2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

一人一人が 自信をもち 輝ける学校づくり

子どもたち一人一人が、学校で学ぶ楽しさ（学習・生活）を実感し、自他を大切に互いが成長し合える学級・学校を目指す。

### 【目指す学校像】

○子どもたち一人一人に 学ぶ楽しさと心の成長が感じられる学校

○教職員が自分の力を発揮し 働く喜びを味わえる学校

○家庭や地域から信頼される 魅力ある学校

### 【目指す教職員像】

○教育的愛情と真の優しさ・厳しさをもち 子どもに寄り添い行動する教職員

○協調性と協働性をもち 学び合い向上する教職員

○保護者や地域住民と進んで関わり 信頼される教職員

## 3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

(1) ○一人一人が「わかる、できる、楽しい」と学びを実感できる授業づくりに努める。

(2) 規範意識や思いやりの心など、一人一人の心づくりに努める。

(3) 健康に関する自己管理能力を育成するとともに、自ら進んで体力づくりに励み、たくましく生きる人づくりに努める。

(4) ○全教職員の共通理解のもと、一人一人を大切にした児童指導の充実に努める。

(5) ○家庭・地域と協働して子どもたちを育てる信頼される学校づくりに努める。

(6) 教職員が協調性と協働性をもち、共に学び合うとともに各々のよさが発揮できる組織づくりに努める。

(7) 教職員が健康・安全管理に留意するとともに、勤務時間を意識した働き方を推進する。

【陽南地域学校園教育ビジョン】地域に根ざした豊かな心を育む小中一貫教育 ～子どもの自主的な活動を通して～

## 4 教育課程編成の方針

(1) 本年度の学校教育目標、経営方針の示すところにより、学校の実情、児童の実態を考慮し、特色ある学校づくりが実現できるよう編成する。

(2) 習熟度別学習やTT、教科担任制を取り入れ、「個に応じた指導」「楽しく分かる授業」を展開し、基礎的・基本的な事項の確実な定着が図れる教育課程編成に努める。

(3) 児童の発達段階を考慮し、教科等横断的な視点で、各教科等の関連付けを図りながら教育課程を編成し、カリキュラム・マネジメントの充実に努める。

(4) 地域の自然、文化、伝統などの教育資源を有効に生かす教育活動を編成する。

(5) 児童一人一人の自己肯定感を、学校教育活動全体を通して育成する。

## 5 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

### 【学校運営】

・互い（児童・教職員）が成長し合い、一人一人が自信をもって輝ける学校づくりを推進する。

○児童の心に寄り添い、一人一人の心が成長する学校づくりを推進する。

○真の優しさや厳しさをもち、児童・保護者・地域を愛し、信頼される学校を目指す。

### 【学習指導】

○学ぶ楽しさを実感し、主体的に学びに向かう児童の育成を目指す。

・基礎・基本の確実な習得と活用を目指す授業づくりを推進する。

・「課題を理解する場、見方・考え方を働かせ課題解決に取り組む場、対話し学びを伝え高め合う場、振り返る場」等の授業の展開の仕方や発問を工夫し、新学習指導要領の趣旨を具現化させる授業を実践していく。

【児童生徒指導】

○きまりを守ることの大切さや人を思いやる心の大切さを理解し、互いに他を認め合える児童の育成を目指す。

・児童の特性の理解と対応、いじめ防止及び早期発見・早期解決、不登校児童への組織的・計画的支援、自己肯定感を高める支援等を工夫する。

【健康（体力・保健・食・安全）】

・児童一人一人が、自己の健康・体力に関心を持ち、自己管理能力を高める保健学習・教科体育の実践を図る。

6 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
目 指 す 児 童 の 姿	A1 児童は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 「児童は、授業中、話をしっかりと聞いたり、発表したりするなど、進んで学習に取り組んでいる。」 ⇒児童・教職員の肯定的回答 90%以上 ⇒保護者の肯定的回答 85%以上	①学習課題の提示の仕方や教材を工夫する。 ・児童が興味・関心をもって取り組めるよう学習活動の工夫・改善を推進する。 ②基礎・基本の確実な定着を図る ・少人数指導・習熟度別学習等の工夫をする。 ・学習形態を工夫し、互いの意見を伝え合う活動を積極的に取り入れる。 ・発表や話し合いの仕方、ノート活用の活用について系統的・発展的に指導できるよう全教職員で共通理解を図り取り組んでいく。	B	【達成状況】 児童 92.6% 教職員 87.1% 保護者 91.1% 【次年度の方針】 児童、教職員、保護者の肯定的回答が数値指標を上回った。算数の習熟度別学習が定着し、効果が出てきた。学習のきまり（持ち物、ノートの活用、話し合いの仕方など）について全職員で共通理解を図り、全校体制で取り組む。
	A2 児童は、思いやりの心をもっている。 【数値指標】 児童・保護者 「児童は、誰に対しても、思いやりの心をもって優しく接している。」 ⇒児童・保護者の肯定的回答 85%以上	①道徳教育の充実を図る。 ②教育相談やQ-Uの結果等を参考にし、児童の考えや悩みを適切に捉え指導にあたる。 ・児童からの悩み相談に対しては、学級担任、学年、学校全体で支援にあたる。 ③児童同士が認め合える環境作りとして、構成的エンカウンターやSSTを学級活動等に取り入れていく。また、学校行事や児童会活動、縦割り班活動などの実施方法を工夫するとともに、認め合い活動を行う。	B	【達成状況】 児童 89.4% 保護者 90.4% 【次年度の方針】 数値指標を児童・保護者共に上回っている。教育相談やQ-U実施については今後も継続し、適切に児童理解を行う。また、「学校をよりよくするアンケート」も定期的な児童理解のためには有効であるため、今後も毎月続けていく。
	A3 児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている。 【数値指標】 「児童はきまりやマナーを守って生活をしている。」 ⇒児童の肯定的回答 85%以上	①基本的な生活習慣と規範意識を育成する。 ・「横西小よい子の一日」の周知徹底を図り、守れていない事柄については、学校全体で共通理解を図り、同一歩調での指導を行う。 ・「横西っ子5つのきまり」については、強化週間等を設け、児童への意識付を図っていく。 ・道徳科や学級活動等において、人権の尊重・規範意識の向上に関する授業を実践する中で、児童の意識を高めていく。	B	【達成状況】 児童 84.5% 【次年度の方針】 数値指標の85%をやや下回った。課題はあいさつと廊下の歩行、規範意識の醸成である。規範意識やマナーについては、「横西小よい子の一日」を次年度も周知・徹底していく。また、教員が日常生活の様子をそれぞれ見る場所を決め、全職員で見守っていくことで、「よい子の一日」の定着を図っていく。

<p>A 4 児童は、時と場に応じたあいさつをしている。</p> <p>【数値指標】 「児童は時と場に応じたあいさつをしている。」 ⇒児童・地域住民の肯定的回答 90%以上 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①児童の創意を生かしたあいさつ運動の推進を図る。</p> <p>・全児童があいさつ運動に関わることができるよう活動内容を工夫し、取組を強化する。</p> <p>・「横西っ子5つのきまり」である「いつでもあいさつ」の呼び掛けを行い、意識付けやあいさつの習慣化を図る。また、教職員が率先遂行する。</p> <p>・一斉下校の全体指導等において、登下校の際の地域の方へのあいさつの重要性を理解させる。</p>	<p>【達成状況】 児童 92.0% 保護者 82.4% 地域住民 84.6%</p> <p>【次年度の方針】 数値指標を児童・保護者共に上回っている。あいさつについては、あいさつ運動の活動を今後も工夫していく。また、あいさつのよさについて、学級活動や児童会などで意図的に呼び掛け、あいさつの重要性を理解させていく。</p>
<p>A 5 児童は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 「児童は、夢や目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。」 ⇒児童・保護者の肯定的回答 85%以上</p>	<p>①児童の自己肯定感を高められるよう、児童相互に認め合う場を数多く設けるとともに、教職員は認め励ます指導に努める。</p> <p>②各教科の授業や各種検定等において、児童が目標をもって取り組む機会を設け、目標の達成に向けて努力する姿勢を称賛するとともに、学年だより等により保護者へ周知していく。</p> <p>③道徳科の授業において、目標をもって粘り強く取り組むことの大切さに気付けさせるとともに、実践への意欲を高める。</p>	<p>【達成状況】 児童 86.7% 保護者 81.9%</p> <p>【次年度の方針】 児童の肯定的回答は数値指標を上回った。また、保護者の肯定的回答は昨年度を大きく上回った。各教科の授業や各種検定において、個々に目標をもって取り組むことで達成感を味わうことができたことがこの結果につながったと思われ、これらの取組は次年度も継続していく。</p> <p>また、保護者にもこれらの取組について、学年だより等を通して周知していく。</p>
<p>A 6 児童は、健康や安全に気を付けて生活している。</p> <p>【数値指標】 「児童は、健康や安全に気を付けて生活している。」 ⇒教職員・保護者の肯定的回答 85%以上</p>	<p>①児童が自分の健康に気を付けて自ら健康を管理できるよう、学級活動、体育、学校行事と関連を図った保健指導や日常生活指導を行う。</p> <p>・うがい・手洗い等の励行やハンカチ、ティッシュの携行、教室の換気、新たな生活様式に合わせた給食時の手順等について、指導の充実を図る。</p> <p>②学校給食と各教科等との関連を図った指導のもと、栄養のバランスのとれた食事や望ましい食習慣の形成を図る。</p> <p>③危機を予測し適切な意思決定と行動選択できる力を身に付けることができるよう、日常における安全指導を充実する。</p> <p>・室内での過ごし方、廊下の歩行や校庭での遊び方など、「横西小よい子の一日」を活用して指導していく。</p> <p>・交通事故予防、特に自転車の乗り方について、保護者への協力を依頼する。</p> <p>④家庭と連携した取組となるよう、便り等により情報を共有し、取組の充実を図る。</p>	<p>【達成状況】 教職員 77.4% 保護者 93.1%</p> <p>【次年度の方針】 児童が自分の健康に気を付けて自ら健康を管理できるよう、昨年度同様、学級活動、体育、学校行事と関連を図った保健指導や日常生活指導を行っていく。</p> <p>給食時においては、巡回指導等を通して新たな生活様式に合わせた安全な食習慣が定着してきた。次年度もさらなる充実を目指し、継続していく。</p> <p>また、児童が日常生活および災害発生時に、適切な意思決定と行動選択できる力を身に付けることができるよう、引き続き安全に関する取組の充実を図る。</p> <p>生活習慣の改善には保護者の意識や生活スタイルの改善も必要であるため、家庭との情報共有など連携して指導を行う。</p>

<p>A7 児童は、夢や目標をもって、社会に貢献できるよう努力している。</p> <p>【数値指標】 「児童は、夢や目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。」 ⇒児童・保護者の肯定的回答 85%以上</p>	<p>①<u>宮・未来キャリア教育年間指導計画に基づき、児童が自らのよさを自覚して夢や目標の実現に向けて取り組もうとする意欲や、望ましい勤労観や職業観を、全教育活動を通して意図的・計画的に育む。</u></p> <p>・学級活動等で使うキャリアパスポートを活用することで勤労観や職業観を学年の発達段階に応じて育めるようにする。</p> <p>②家庭や地域社会との連携による体験的活動を実施し、児童が将来の夢や希望を描いたり、実現に向けて努力したりする態度を育成する。また、学校での取組を保護者に積極的に発信していく。</p>	<p>【達成状況】 児童 86.7% 保護者 81.9%</p> <p>【次年度の方針】 児童は数値指標を上回ったが、保護者は下回った。キャリアパスポートの目的を教師が正しく理解し、発達段階に応じて児童の勤労観や職業観を高めていく。</p> <p>年間計画に資料の活用を明示し、学級活動やキャリア教育に関わる場面で活用していく。</p>
<p>A8 児童は、英語を使ってコミュニケーションしている。</p> <p>【数値指標】 「児童は、外国語活動(英語)の授業やALTとの交流の際に、英語を使ってコミュニケーションしている。」 ⇒児童・教職員の肯定的回答 90%以上</p>	<p>①外国語や外国語活動の授業を通じて、外国の言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。</p> <p>②外国語や外国語活動に関する情報収集や授業を相互に見合う機会を充実させ指導力の向上を図る。</p> <p>③めあてを明確にし、児童が話したい・やってみたいと思える場を設定することにより、英語で会話できたという自己肯定感を育む。</p>	<p>【達成状況】 児童 89.0% 教職員 87.1%</p> <p>【次年度の方針】 児童、教職員ともに数値指標を下回ったものの、前年度よりもポイントは上がった。朝の会で行う「デイリーイングリッシュ」が効果的であったので、継続していく。</p> <p>その時間のめあてをしっかりと捉え、児童が達成感をもって授業に取り組めるようにすることで、自分が英語を話せたという自己肯定感を育む。そのために、児童が話したい・やってみたいと思える場を設定する。</p>
<p>A9 児童は、宇都宮の良さを知っている。</p> <p>【数値指標】 「児童は、宇都宮の良さを知っている。」 ⇒児童・保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①生活科、社会科、総合的な学習の時間、国語科、道徳科において「宇都宮学」を計画的に実施する。また、市内や地域での校外学習等において、学習内容に関連させながら児童が身近な地域や宇都宮市の良さに気付く指導に努める。</p> <p>②教師自身が宇都宮市の歴史、文化、伝統産業、特産物等について理解を深められるよう努める。</p>	<p>【達成状況】 児童 77.5% 保護者 58.1%</p> <p>【次年度の方針】 肯定的回答は、児童・保護者ともに数値指標を下回った。総合的な学習の時間、国語、生活科、社会科、道徳において宇都宮学を計画的に実施することで、児童の興味関心を高める。</p> <p>学年だよりやHP等で紹介する機会を設け、家庭でも宇都宮における関心が高まるよう保護者との連携を図る。</p>
<p>A10 児童は、ICT機器や図書等を学習に活用している。</p> <p>【数値指標】 「児童は、パソコンや図書等を学習に活用している。」 ⇒児童・教職員の肯定的回答 90%以上</p>	<p>①<u>パソコン・タブレット等の活用により、主体的・対話的で深い学びを促進するとともに、児童の機器活用能力や情報活用能力の育成を図る。</u></p> <p>②学校図書館の学習・情報センターとしての機能の充実を図る。</p> <p>③ICTや図書資料を活用した学習に関して、家庭への情報提供を行う。</p>	<p>【達成状況】 児童 87.1% 教職員 90.3%</p> <p>【次年度の方針】 児童は数値指標を下回ったが、教職員は数値指標を上回った。次年度も、タブレットを使った授業の研究を進めていく。</p> <p>また、学校図書館司書が積極的に授業に関わり、図書資料を有効活用できる取組を増やしていく。</p>

	<p>A11 児童は、高齢者に対する感謝やいたわりの心をもっている。</p> <p>【数値指標】 「児童は、誰に対しても、思いやりの心をもって優しく接している。」 ⇒児童・保護者の肯定的回答 90%以上</p>	<p>①高齢者とふれ合う機会の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生活科や総合的な学習の時間などにおいて、高齢者を講師として招いたり高齢者にインタビューする活動を設定したりするなどして、高齢者の知恵や人生経験に学ぶ機会を設定する。</li> <li>道徳科の授業を通して高齢者や障がい者に対して理解を深められるよう努める。</li> </ul>	<p>【達成状況】 児童 89.4% 保護者 90.4%</p> <p>【次年度の方針】 児童・保護者とも、肯定的回答が前年度より増加した。今年度も感染症予防対策により高齢者と関わる行事はほとんど中止となった。しかし、道徳の授業の中で高齢者や障がい者に対しての理解を深める機会は今年度も設けた。今年度予定していた取組は継続し、感染症対策を考えながら実施方法を検討していく。</p>
	<p>A12 児童は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。</p> <p>【数値指標】 「児童は、環境問題や防災等の『持続可能な社会』について、関心を持っている。」 ⇒児童の肯定的回答 85%</p> <p>「児童は、『持続可能な社会』について、関心を持っている。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%</p>	<p>①各教科等において、<u>学習指導要領等の趣旨を踏まえ、「持続可能な社会」を見据えた授業の充実を図る。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>6年総合「子ども会議」</li> <li>5年総合「エソジマモチ」</li> </ul> <p>②各教科等の授業と学校行事や体験活動、地域社会との連携など、特色のある教育活動を展開する中で、「持続可能な社会」と関連付けられる部分を取り上げていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「きみの横西」</li> <li>児童会活動「エコキャップ回収」</li> </ul>	<p>【達成状況】 児童 78.7% 教職員 58.1%</p> <p>【次年度の方針】 児童・保護者とも、肯定的回答は数値指標を下回った。しかし、SDGsについて少しずつ理解が進んできている。教科の学習だけでなく朝会などの学校行事で周知する機会がもてた。校内に掲示コーナーも設置し児童の関心を高めることができた。しかし、各教科の学習と関連した取組はまだ十分であるとはいえないため、その機会を活用し「持続可能な社会」の実現に向けての取組や考え方について児童と共に理解を深める。</p>
	<p>B1 児童は、家庭学習の習慣を身に付けている。</p> <p>【数値指標】 「わたしは、宿題や自主学習を、目標とする時間以上にやっている。」 「児童は、宿題（自主学習）を含めた家庭学習を目標時間以上にやっている。」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①家庭学習の習慣が身に付くよう個々に指導を進めていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「陽南地域家庭学習のヒント集」に基づき、<u>発達段階にあった家庭学習の時間の確保や適切な量の課題を出すようにし、基本的な学習習慣の定着に努める。</u></li> <li>家庭学習強化週間を年間5回設定して、家庭学習の習慣化を図る。</li> <li>家庭で学習してきた内容に対して、認め励ますとともに、意欲が持続するような手立てを工夫する。</li> </ul>	<p>【達成状況】 児童 72.5%</p> <p>【次年度の方針】 肯定的回答が数値指標を下回った。家庭学習強化週間では、児童・保護者も意識して取り組むことができ、家庭学習を見直すきっかけにもなった。スモールステップで取り組める内容を取り入れ、自主学習の例などを提示する。</p> <p>また、習い事によって、学年+10分の目標時間が達成できない児童もいる。年度初めに曜日ごとに学習時間や目標を設定し、こまめに見直す機会を設定する。学年だより等により、家庭学習に関する保護者への啓発を行い、協力を依頼する。</p>
<p>目指す学校の</p>	<p>A13 教職員は、特別な支援を必要とする児童の実態に応じて、適切な支援をしている。</p> <p>【数値指標】 「教職員は、特別な支援を必要とする児童や外国人児童等の実態に応じて、適切な支援をしている。」 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上</p>	<p>①校内支援委員会等で具体的な指導目標や指導の手立てを設定し、<u>教職員の共通理解のもと指導に当たる。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童の実態把握や児童の特性に合った支援を強化していく。</li> <li>担任とかがやきルーム指導員が指導記録を交換し連携強化を図る。</li> </ul> <p>②特別支援学級における指導の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童の実態を的確に把握し、一人一人障害特性に応じた指導を行う。</li> <li>保護者や関係職員と連携を図りながら、交流及び共同学習を積極的に推進する。</li> </ul>	<p>【達成状況】 教職員 100%</p> <p>【次年度の方針】 児童の実態について、今年度同様校内支援委員会等で理解を図っていく。</p> <p>また、児童の実態をより適切に把握できるように、データ上でいつでも情報が見られるよう、管理する方法を検討していく。</p>

<p>姿</p>	<p>A14 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。</p> <p>【数値指標】 「先生方は、いじめが許されないことを熱心に指導してくれる。」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上 「学校は、いじめ対策に熱心に取り組んでいる。」 ⇒保護者・地域住民の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①「横西小いじめ防止基本方針」に基づき、全職員で指導に当たる。</p> <p>②日常の児童の言動に気を配り、小さなトラブルも見逃さず、いじめは許されない行為であることを指導し、未然防止に努める。</p> <p>③児童会によるいじめゼロ集会での取組等について、児童会だよりで子どもたちから発信したり、いじめ標語を校内に掲示したりする。</p> <p>④学校のいじめの未然防止の取組について、各種たよりやHPにより保護者・地域に対し啓発を図る。</p>	<p>【達成状況】 児童 97.0% 保護者 72.5% 地域住民 100%</p> <p>【次年度の方針】 児童は数値指標を上回った。次年度も「横西小いじめ防止基本方針」に基づき、組織連携を踏まえて、いじめの未然防止に努め、いじめゼロ集会などを継続していく。</p> <p>また、SNSトラブルなどが増加しているので、次年度はSNS上のいじめやトラブルを防止する指導を計画的に行っていく。</p> <p>さらに、保護者にも情報を提供し、いじめ防止に努めていく。</p>
	<p>A15 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。</p> <p>【数値指標】 「先生方は、一人一人を大切に、児童がともに認め励まし合うクラスをつくってくれている。」 「教職員は、一人一人の児童を大切に、児童がともに認め励まし合う学級づくりを行っている。」 ⇒児童・保護者の肯定的回答 85%以上</p>	<p>①児童相互に認め合う場を数多く設けるとともに、教職員の認め励ます指導に努め、児童の自己肯定感を高める。</p> <p>②児童の状況にあった支援策を検討する。</p> <p>・児童の欠席状況等を把握し、<u>ケース会議等で学校の支援の方針を話し合い、共通理解を図りながら、学校全体で組織的・計画的に支援を行う。</u></p> <p>・学校の支援方針について保護者の理解と協力を得ながら、同じ目標に向かって支援を行う。</p> <p>③別室登校支援や放課後の個別登校支援の充実を図る。</p> <p>・児童の状態に応じた適切な支援がなされるよう、多様な場の設定や支援策がなされるように努める。</p>	<p>【達成状況】 児童 96.4% 保護者 87.9%</p> <p>【次年度の方針】 児童・保護者共に、数値指標を上回った。今後も児童の情報や欠席状況の情報を共有できるよう、工夫していく。</p> <p>また、不登校の状況に応じて、別室登校支援や放課後支援、タブレットの活用などについて支援の方法を検討していく。</p>
	<p>A16 教職員は、外国人児童生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている。</p> <p>【数値指標】 「教職員は、特別な支援を必要とする児童や外国人児童等の実態に応じて、適切な支援をしている。」 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上</p>	<p>①外国人児童の受け入れ態勢づくりに努める。</p> <p>・外国人児童の編入学における校内の受け入れ態勢を整える。</p> <p>・必要に応じ、保護者、日本語ボランティア、関係機関との連携体制を確認する。</p>	<p>【達成状況】 教職員 100%</p> <p>【次年度の方針】 引き続き、外国人児童の受け入れ態勢を整備し、外国人児童の編入学における校内の受け入れをスムーズに行う。</p> <p>また、必要に応じて保護者、日本語ボランティア、関係機関との連携ができるようにする。</p>
	<p>A17 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。</p> <p>【数値指標】 「わたしは、今の学校が好きです。」 「学校全体に活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。」 ⇒児童・保護者・地域住民の肯定的回答 90%以上</p>	<p>①適正な学校運営に努める。</p> <p>・学校評価を生かした保護者・地域と一体化した活気ある学校づくりを推進する。</p> <p>・担任と一緒に学級集団で遊ぶ時間を設けるなど児童一人一人を大切に居がいのある学級づくりに努める。</p> <p>・個々の児童の困り感に対し、より丁寧に対応できるよう、家庭との連携を図る。</p> <p>・あいさつ運動の推進を図る。</p>	<p>【達成状況】 児童 89.2% 保護者 90.4% 地域住民 100%</p> <p>【次年度の方針】 児童と保護者の肯定的回答は昨年度よりも増加している。感染症予防対策で保護者や地域の方に学校を開放する機会は減っているが、職員から積極的にあいさつや声掛けをしている成果がでてきていると考えられる。休み時間には、児童と一緒に遊ぶ職員の姿も多く見られた。次年度も取組を継続していく。</p>

<p>A18 教職員は、分かる授業や児童にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。</p> <p>【数値指標】 「先生方の授業は分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる。」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上</p>	<p>①学習指導の工夫・改善を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・明確なめあての提示、板書の工夫等指導方法の改善を図る。</li> <li>・思考力を育てるための、書く活動を重視した授業づくりを行う。</li> <li>・習熟度別学習や少人数指導・TT指導等を効果的に実施する。</li> <li>・一人一授業を実施するとともに、授業力向上のため校内研修の充実を図る。</li> </ul>	<p>【達成状況】 児童 96.8%</p> <p>【次年度の方針】 児童の肯定的回答は数値指標を大きく上回った。明確なめあての提示や少人数指導などの取組を、共通理解を図りながら継続して行っていく。 教職員の授業力向上を目指し、校内研修等で、指導方法や板書、ノート指導について検討するなど、研修内容を改善していく。</p>
<p>A19 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 「学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。」 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上</p>	<p>①学校図書館司書、学校栄養職員、かがやきルーム指導員、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー等と連携した取組を充実させる。特に、かがやきルーム指導員、スクールカウンセラーと連携した取組をさらに充実する。</p> <p>②学校図書館司書や学校栄養士について、年間指導計画に位置付け活用の充実を図る。</p>	<p>【達成状況】 教職員 87.1%</p> <p>【次年度の方針】 教職員の肯定的回答は、数値指標を下回った。多様な専門スタッフと連携し、児童への指導・支援の充実を図る。学校図書館司書、学校栄養職員の授業への参画を継続する。かがやきルーム指導員、スクールカウンセラーと連携した取組も継続する。</p>
<p>A20 学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 「学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。」 ⇒教職員の肯定的回答 85%以上</p>	<p>①業務の改善と勤務時間を意識した働き方改革を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・管理職は教職員の毎月の時間外勤務の状況を正確に把握する。</li> <li>・教職員は、業務の精選を常に意識して勤務するとともに、「何時まで」「どこまで」などの個人目標を設定して、勤務の効率化を図る。</li> </ul>	<p>【達成状況】 教職員 64.5%</p> <p>【次年度の方針】 肯定的回答は昨年度より下がった。勤務時間をさらに意識して、ポータルサイト等を活用し業務の効率化に取り組む。教職員が、時間を意識して勤務できるように職員室にチャイム付き時計を設置した。会議、打合せ等も終了時間を意識して実施できるようにする。個人目標を設定して、長時間労働にならないように意識して努める。</p>
<p>A21 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。</p> <p>【数値指標】 「学校は、小学生や中学生が交流する活動を行っている。」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上 「学校は小学校と中学校が連携した「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。」 ⇒保護者・地域住民の肯定的回答 90%以上</p>	<p>①義務教育9年間を通じた系統的な指導を行う「<u>小中一貫教育カリキュラム</u>」を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カリキュラムの地域学校園化・自校化を進める。</li> <li>・<u>地域学校園で授業のきまりを設定するなどして学習の基盤を整える。</u></li> <li>・乗り入れ授業やあいさつ運動等、小中一貫の取組を学校だより等で紹介し、保護者・地域への周知を図る。</li> </ul>	<p>【達成状況】 児童 75.3% 保護者 76.7% 地域住民 100%</p> <p>【次年度の方針】 本年度もコロナ対策により十分な活動ができなかったが、児童の肯定的回答は上がった。 各校の取組について情報交換を行ってきた。これまでどおり、陽南中との相互乗り入れ授業を始め、「あいさつ運動」など多くの活動において小中一貫教育を行い、取組を学校だより等で紹介し、保護者や地域への周知を図っていく。</p>

<p>A22 学校は、地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開している。</p> <p>【数値指標】 「わたしは、地域の企業の方々といっしょに活動することで学習が充実し、楽しい。」 「学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。」 ⇒児童・教職員の肯定的回答 90%以上</p>	<p>①<u>地域の「見守り隊」「自治体」「育成会」等の各団体との連携・協力を推進するとともに、企業等の活用を推進する。地域人材の活用や企業の専門性を生かした学習を推進する。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上下水道局、税務署、(株)SUBARU、エソジマモチ保存会や白楊高校等、地域企業や団体と連携した授業を計画的に行う。</li> </ul>	<p>【達成状況】 児童 87.1% 教職員 90.3%</p> <p>【次年度の方針】 児童の肯定的回答は、数値指標を下回った。地域の「見守り隊」「自治会」「育成会」等、各団体との連携・協力を引き続き推進していく。地域人材バンク等を活用し、さらに企業等の活用を推進する。 児童がお世話になっている方や活動について啓発を図るとともに、活動の様子を掲示することで活動の見える化も継続していく。</p>
<p>A23 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、よりよい児童の育成に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 「学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。」 ⇒保護者・地域住民の肯定的回答 90%以上</p>	<p>①<u>地域人材の活用や企業の専門性を生かした学習を推進する。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の「見守り隊」「自治体」「育成会」等の各団体との連携・協力を推進する。</li> <li>・児童がお世話になっている方や各活動について、活動の様子を掲示することで見える化を図る。</li> <li>・学校における取組をHPや学校だより等により、発信していく。</li> </ul>	<p>【達成状況】 保護者 83.6% 地域住民 92.3%</p> <p>【次年度の方針】 児童の肯定的回答は、数値指標を下回った。地域の「見守り隊」「自治会」「育成会」等、各団体との連携・協力を引き続き推進していく。地域人材バンク等を活用し、さらに企業等の活用を推進する。 児童がお世話になっている方や活動について啓発を図るとともに、活動の様子を掲示することで活動の見える化も継続していく。</p>
<p>A24 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。</p> <p>【数値指標】 教職員・保護者・地域住民 「学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。」 ⇒肯定的回答 90%以上</p>	<p>①<u>定期的な安全点検の実施により環境整備を図る。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設・設備・器具・用具等の定期的な安全点検を実施し、点検結果に基づいた維持管理や改善を図る。</li> </ul>	<p>【達成状況】 教職員 96.8% 保護 87.4% 地域住民 100%</p> <p>【次年度の方針】 定期的な安全点検を実施し、危険箇所については、複数の目で確認をするなど、点検結果に基づいた維持管理や改善を図るようにする。</p>
<p>A25 学校は、学習に必要なICT機器や図書等を整えている。</p> <p>【数値指標】 「児童は、パソコンや図書等を学習に活用している。」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①学校図書館司書と連携し、学習に必要な図書を充実させる。</p> <p>②<u>ICT機器を積極的に活用した授業を展開し、機器の活用の充実や整備に努める。</u></p> <p>③ICTや図書資料を活用した学習に関して、家庭への情報提供を行う。</p>	<p>【達成状況】 児童 87.1% 保護者 72.4%</p> <p>【次年度の方針】 学校図書館司書と連携し、調べ学習等に必要な図書をさらに充実させたい。また、授業において、ICT機器を積極的に活用した授業展開を検討し、機器の活用の充実や整備、研修に努める。学年だより等で活動の様子を家庭に伝えていく。</p>

本校の特色・課題等	<p>B2 児童は食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けている。</p> <p>【数値指標】 「わたしは、食事のマナーや習慣をきちんと身に付けて食事をするができる。」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上 「児童は、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けている。」 ⇒保護者の肯定的回答 70%以上 「児童は、食事のマナーや食習慣をきちんと身に付けている。」 ⇒地域住民の肯定的回答 90%以上</p>	<p>①給食指導の充実を図る。 ・基本的なマナーの指導を徹底し、偏食指導、栄養指導、衛生指導等、食育指導の充実を図る。 ・児童の食に関する正しい知識、保護者の望ましい食習慣についての意識等に関して調査を行い、必要な指導事項を明確にし、望ましい食習慣の定着を図る。 ・学校での食育指導の内容について、各種便りや学級懇談会を通して保護者に伝え、共通理解のもとで家庭と連携しながら指導していく。</p>	<p>【達成状況】 児童 86.3% 保護 66.8% 地域住民 100% 【次年度の方針】 児童・保護者とも数値目標を下回った。児童に対しては毎日の給食時に基本的なマナーを徹底して指導し、食育指導の充実を図る。また、児童の食に関する正しい知識と望ましい食習慣についての保護者の意識調査を行い、必要な指導事項を明確にし、望ましい食習慣の定着を図る。学校での食育指導の内容について、各種たよりや学級懇談会をとおして保護者に伝え、共通理解のもとで家庭と連携しながら指導していく。</p>
	<p>B3 児童は、規則正しい生活を送っている。</p> <p>【数値指標】 ⇒児童・保護者の肯定的回答 85%以上 「わたしは早寝・早起き・朝ごはんの習慣をきちんと身に付けて規則正しい生活を送っている。」 「児童は、早寝・早起き・朝ごはんなど、規則正しい生活を送るための習慣を身に付けている。」</p>	<p>①健康的な生活を送ることの大切さについて、指導の充実を図る。 ・学級活動・体育での保健指導・家庭科等において正しい知識の定着を図る。 ②生活習慣に関するアンケート等を活用し、児童の意欲付けを図るとともに、保護者への情報提供を行い、家庭と連携しながら指導していく。</p>	<p>【達成状況】 児童 80.3% 保護者 85.9% 【次年度の方針】 児童の肯定的回答は数値指標を下回り、保護者の肯定的回答は上回った。スタンダードダイアリー「元気っ子生活習慣チェック」を活用し、児童が自ら生活習慣を見直したり、保護者と共に改善を図れるようにしたりする。また、アンケート結果の分析をホームページ等に掲載し、保護者への情報提供を行い、家庭と連携しながら指導していく。</p>

### 〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

昨年度アンケートと比較し、肯定的回答が同じもしくは上回った項目は、児童の回答項目の約6割、保護者の回答項目の約8割弱であった。また、市の平均を上回った項目が児童の回答16項目のうち9項目となっていた。特にアンケートA15「教職員は、不登校を生まないよう、一人一人の児童を大切に、児童生徒がともに認め励まし合う学級経営を行っている。」A18「教職員は、分かりやすい授業や一人一人へのきめ細かな指導をしている。」においては、児童・保護者・教職員の肯定的回答が、すべて市の平均を上回る結果となった。教職員が共通理解を図り、児童一人一人を大切に、みとめ励ます児童指導やめあてを明確にし、学び合いの場を設定した授業づくりによる成果と考えられる。

A21「学校は、『小中一貫・地域学校園』の取組を行っている。」の肯定的回答は児童・保護者・教職員とも、75%前後と市の平均を下回った。小中一貫の取組については、コロナ感染症対策により、中学校等との直接的な交流の機会がもてなかったことが大きく影響していると思われる。A19「学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。」については、児童・教職員の肯定的回答が昨年度よりも下がった。これも、感染症対策により、地域教材・地域人材を活用した学習活動が実施できなかったことがある結果と考えられる。しかし、保護者・地域の回答率は昨年度よりも上回った。学校が、感染症対策を講じながらも学校行事や学習内容を保障する活動を行い、たよりやHPなどで積極的に学校の学習や生活の情報を発信したことにより、学校教育活動への保護者・地域の理解が得られたものと推察される。

A20「学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。」では、教職員の肯定的回答が64.5%と市平均と近い値であるものの、昨年度を大きく下回り、学校業務の精選が、大きな課題となった。

児童の規則正しい生活に関して、今年度から項目に加わったB3「児童は、早寝・早起き・朝ごはんなど、規則正しい生活を送るための習慣を身につけている。」では、肯定的回答が児童 80.3%、保護者 85%となった。また、B1「児童は、宿題（自主学習）を含めた家庭学習を目標時間以上やっている。」では、肯定的回答が児童 72.5% 保護者 53.2%となっており、家庭と連携を図る必要を強く感じる結果となった。

## 7 学校関係者評価

学校は、コロナ感染症対策に考慮しながらも、児童の学習・行事等を工夫し学校教育活動に取り組んでいた。今年度も、コロナ感染症対策のため、地域関係者と児童が直接ふれ合う活動や地域関係者の学校行事へ参加が難しい状況にあった。次年度も、感染症対策を考慮したうえで、地域と学校が連携を図り、地域の人材・教材等を活用した児童の学びの機会や健全育成の取組を行ってほしい。

## 8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- ・今年度の取組を継続するとともに、学習や生活の基礎基本の定着・向上を目指し、保護者と連携を図って取り組んでいく。
- 宇都宮学については、各教科等での位置付けをし、計画的に実施していくことで、宇都宮のよさに気付く指導を行っていく。
- 小・中学校が連携した取組や地域と連携した活動については、十分に感染症予防対策を講じながら、学びの場が保障されるよう実施の内容・方法を工夫するなどして実施していく。
- ・いじめ対策に関する取組では、いじめの未然防止の取組を継続するとともに、SNSによるいじめやトラブルを防止するための児童・家庭への啓発の取組を行っていく。